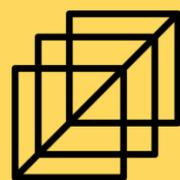


芦屋PTOTST連絡会 活動報告



芦屋市社会福祉協議会
芦屋市訪問看護ステーション
芦屋PTOTST連絡会 代表
理学療法士 嶋田尚徳

芦屋PTOTST連絡会 沿革



2019年

- 8月
連絡会設立に向けたプロジェクト開始
- 11月
第1回芦屋市リハ職交流会
芦屋PTOTST連絡会設立
芦屋市多職種医療介護連携連絡会参加

2020年

- 1月
第1回連絡会会議開催
活動指針の決定
- 4月
ケア会議派遣開始
- 5月
ケーブルTVで運動紹介
- 7月
ケアマネ研修講師派遣開始
- 9～11月
市内共通りハサマリー作成
YouTubeチャンネル開設
ホームページ開設

2021年

- 1月
運動冊子作成、市内配布
ロゴマーク作成
- 7月
通いの場にPT派遣開始
- 9月
市内広報誌にてフレイル予防記事投稿

2022年

- 1月
シルバー人材講師派遣開始
- 4月
フレイル予防事業開始
地域リハ活動支援事業（個別支援）開始
- 8月
芦屋老人クラブ
高齢者スポーツ支援
- 10月
地域リハ活動支援事業（集団支援）開始

2023年

- 6月
芦屋市薬剤師会研修会講師依頼
- 7月
芦屋市健康福祉フェア出店
- 11月
芦屋市介護事業者向け研修会講師依頼

2024年

- 2月
歯科医師会POS連携協議会開始予定

現在

芦屋市リハビリ専門職
ネットワーク



芦屋PTOTST連絡会

地域活動実績

01.



02.



03.



介護予防事業

自立支援型地域ケア会議
保健事業と介護予防の一体的実施
地域リハビリテーション活動支援事業
芦屋市健康福祉フェア

講師依頼

芦屋市生活支援型訪問サービス従事者研修
芦屋市介護事業者向け研修会（移乗）
芦屋市ケアマネ研修会
芦屋市老人クラブ連合会講演
兵庫県薬剤師会研修
芦屋市社会福祉協議会 普及啓発事業

多職種連携会議

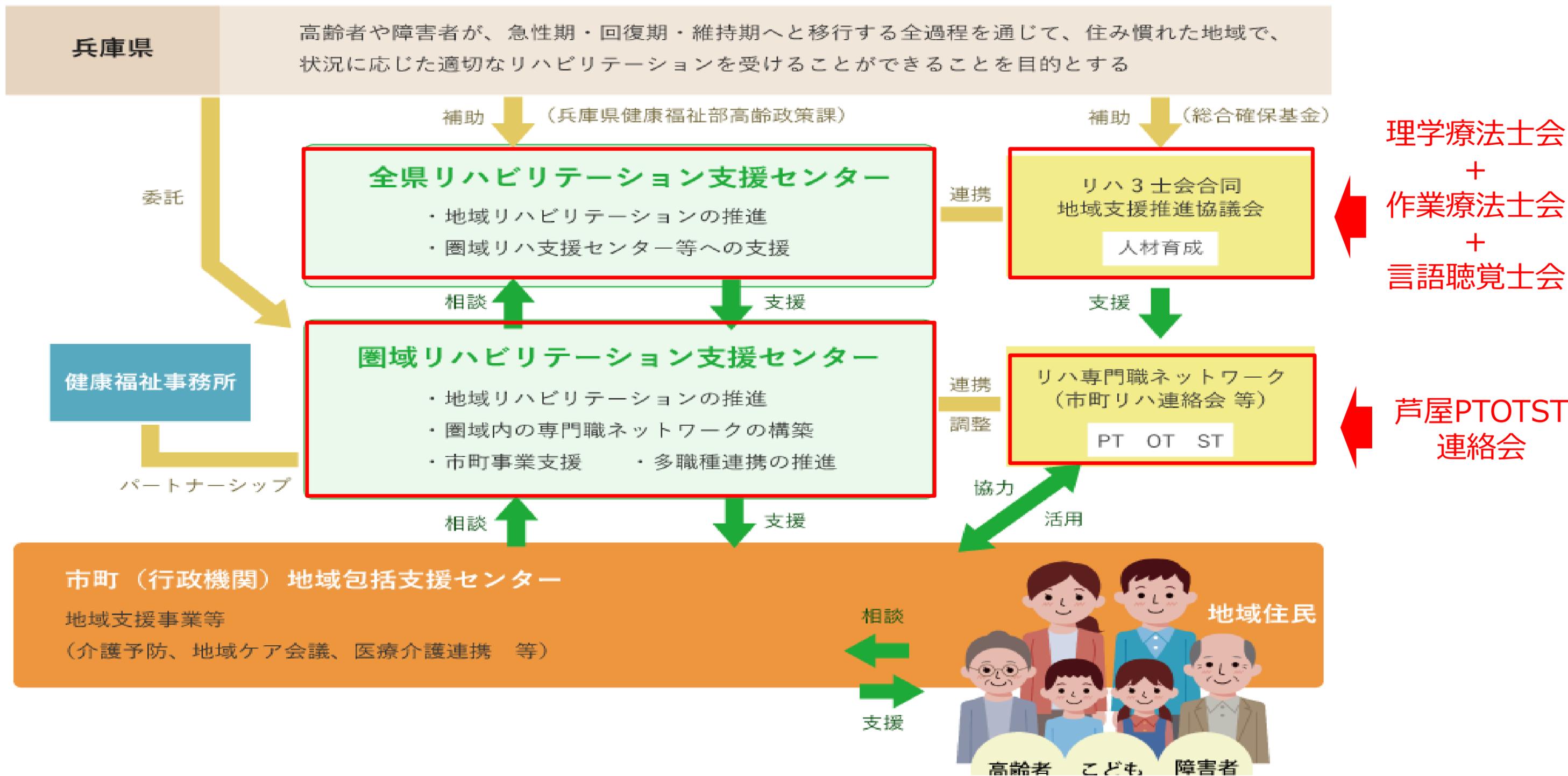
芦屋多職種医療介護ONEチーム連絡会
愛車氏歯科医師会POS連携協議会

活動指針

兵庫県地域リハビリテーション活動支援体制

- 兵庫県では、兵庫県地域リハビリテーション活動支援体制を整えるべく、平成27年より、兵庫県リハ3士会地域支援推進協議会と連携して、市町が行う地域リハビリテーション活動支援事業の推進に向けた取り組みを行っている
- **< 3士会の芦屋市が含まれる支部 >**
 - 兵庫県PT士会 西宮・芦屋支部 (芦屋、西宮)
 - 兵庫県OT士会 阪神北南ブロック (芦屋、尼崎、西宮、伊丹、川西、川辺、三田、宝塚)
 - 兵庫県ST士会 阪神南ブロック (芦屋、西宮、尼崎)
- **県士会の支部やブロックでの対応では職種の窓口がバラバラ**
→ **地域に3職種をまとめる団体が必要**

兵庫県（全県）リハビリテーション支援センター



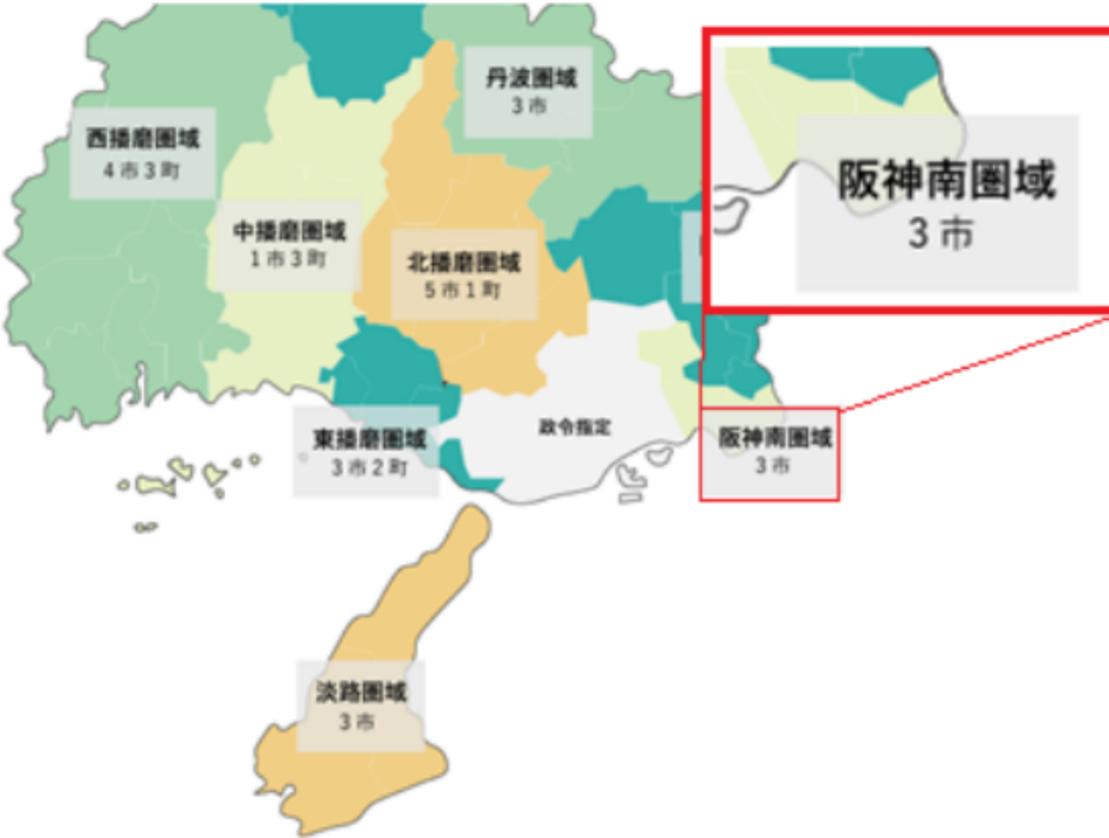
芦屋PTOTST連絡会

9圏域（神戸市以外）



但馬圏域
3市2町

圏域リハビリテーション支援センター



阪神南圏域リハビリテーション支援センター

相談役

芦屋PTOTST連絡会

運営委員会（事務局）

代表 1名
副代表 2名
世話人 14名

行政
(芦屋市高齢介護課 高齢福祉係)

メール会員 20名

地域リハビリテーション活動支援事業等
リハ職派遣依頼

概要

芦屋PTOTST連絡会



開催頻度：2か月に1回
(第3火曜日18：30～20：00)

場 所：芦屋市保健福祉センター

内 容：①地域事業の依頼内容な実施の報告
②活動ごとにグループを作り、それぞれの活動状況の報告
③小グループで様々な議題に対して意見交換

会議の内容

芦屋市における芦屋PTOTST連絡会の位置づけ

第9次 芦屋すこやか長寿プラン21

芦屋市 第9次高齢者福祉計画及び第8期介護保険事業計画

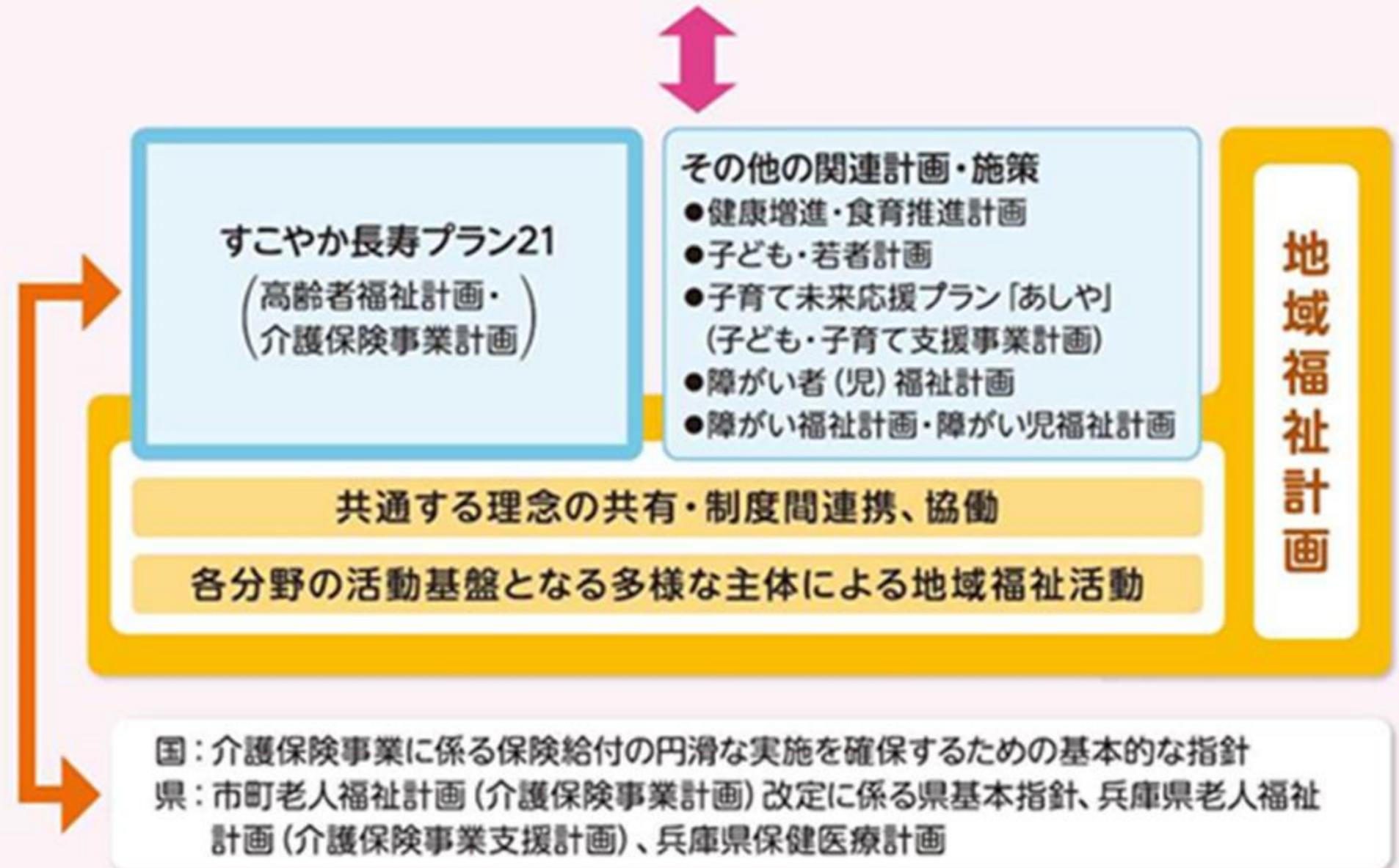
「高齢者がいつまでも、いきいきと安心して暮らせるまち」の実現に向けて



令和3年3月
芦屋市



総合計画



活機能の改善」を一体的に実施するため、医療・介護データの解析や関係する医療専門職との連携などによる介護予防の提供体制の整備を進めていきます。

また、介護や支援が必要な人には、リハビリテーション専門職と連携しながら、自立支援・重度化防止に向けた取組を効果的に実施していきます。

【施策の方向】

高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業の推進【新規】

- 一体的な実施について、庁内関係課に連携し、医療・保健・福祉の関係する取組を実施を図ります。
- 後期高齢者医療健康診査や通いの場に連携し、適切な医療や支援につなぐ取組を実施します。
- 医療専門職が通いの場等に関与することで健康づくりへの興味関心を高め、活動の推進を図ります。

●目標値【通いの場等での保健事業と介護予防事業の一体的な実施】

R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)
24	36	48

多職種・他機関との連携の推進

- 芦屋PTOTST連絡会と連携した、地域リハビリテーション活動支援事業を実施し、介護予防の取組内容の強化・充実を図ります。【新規】
- 自立支援・重度化防止に向け、多職種が参加する地域ケア会議を継続して実施します。
- 多様な主体や各職能団体との連携により専門性を生かした効果的な介護予防事業を実施します。

多職種・他機関との連携の推進

- 芦屋PTOTST連絡会と連携した、地域リハビリテーション活動支援事業を実施し、介護予防の取組内容の強化・充実を図ります。【新規】
- 自立支援・重度化防止に向け、多職種が参加する地域ケア会議を継続して実施します。
- 多様な主体や各職能団体との連携により専門性を生かした効果的な介護予防事業を実施します。

3-3 適切な総合事業の取組の推進

【取組について】

総合事業の安定した供給のために生活支援型訪問サービス従事者研修の実施によりサービスの担い手の育成に取り組みます。

また、利用者の自立支援の推進のため、地域のニーズを把握し、必要なサービスの導入を検討します。ケアプランにおいても自立した生活を営めるように目標指向型のケアプランを作成できるようケアマネジメント研修の実施を継続します。

芦屋市と
芦屋PTOTST連絡会の活動が
芦屋市の施策計画に明記

1 高齢者を地域で支える環境づくり

1-1 相談支援体制の充実

【取組について】

地域包括ケアシステムの更なる深化・推進を図り、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らし続けることができるよう、地域の高齢者の総合相談窓口であり、地域包括ケアシステムの中核を担う高齢者生活支援センター（地域包括支援センター：西山手、東山手、精道、瀬見の4カ所）の機能強化や周知等を図り、相談支援体制を充実していきます。

また、地域共生社会の実現に向け、地域住民が抱える複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、新たに創設される「重層的支援体制整備事業」を活用した属性を問わない相談支援や多機関協働による支援、アウトリーチ等を通じた継続的支援の実施に向けた検討等、包括的な相談支援体制の整備に取り組みます。

【新規】：新たに実施していく取組

【充実】：特に質や規模を高める取組

【施策の方向】

高齢者生活支援センターの適切な運営	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者生活支援センターの事業内容等の計画や国が示す評価指標に基づき協議 地域的な人員配置等による体制整備を行います。
包括的相談支援体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 地域住民が抱える複雑化・複合化した支援ニーズに対応するため、重層的支援体制の整備に向けて、第4次地域福祉計画の策定及び推進と一体的に取り組みます。【新規】 地域共生社会の実現に向け、属性や世代に捉われない包括的な支援ができるよう、相談支援機関の連携を強化します。【充実】
相談支援窓口の周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> 多様な媒体や活動の場などを活用し、高齢者生活支援センターをはじめとした相談支援窓口の周知・啓発に取り組みます。 地域の身近な相談者、支援者である民生委員・児童委員及び福祉推進委員の活動の理解、周知に取り組みます。

専門職アドバイザーとして
ケア会議への参画

多職種が連携した地域ケア会議の機能向上を図り、地域との連携強化及び地域で見守ることが出来る体制整備を行います。

1-3 在宅医療の推進

【取組について】

高齢化に伴い、介護ニーズと医療ニーズを併せ持つ高齢者が増加する中で、医療・介護の連携は不可欠です。

在宅医療・介護連携支援センターを拠点とし、多職種・他機関連携のもと、切れ目のない在宅医療・在宅介護の提供体制の構築を目指します。

あわせて、高齢者自身が医療や介護を受ける段階になったときに、本人が適切な意思表示ができるよう、またそれが適切な医療・介護へ結びつくよう、在宅医療や介護について、市民や関係機関等へ周知・啓発を行います。

【施策の方向】

切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療や介護の理解を深めるため、フォーラムの開催やリーフレットの配布など、多様な媒体を活用し、周知・啓発を行います。
多職種・他機関連携体制の充実	<ul style="list-style-type: none"> 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築を目指します。
在宅医療と介護の理解の促進	<ul style="list-style-type: none"> 在宅医療や介護の理解を深めるため、フォーラムの開催やリーフレットの配布など、多様な媒体を活用し、周知・啓発を行います。

芦屋市の医療介護連携チーム
「ONEチーム連絡会」へ加入

芦屋多職種医療介護 ONE チーム連絡会の機会などを通じた、看取りや終末期を含む在宅医療・介護の連携に関する課題の抽出や対応の検討等により、医療・介護の連携体制の充実を図ります。

医療現場と福祉・介護現場の課題や対応策を協議・共有するため、市内3病院等関係機関との定期的な情報交換を行います。

2 社会参加の促進と高齢者にやすらぎのあるまちづくり

2-1 生きがいつくりの推進

人生100年時代において、生涯現役社会を実現し活力ある長寿社会とするためには、高齢者自身が地域社会と関わり、楽しみや役割を見出し、自らの経験や知識・技能を生かして活躍できる場の整備が必要です。

そのため、地域社会活動、生涯学習、就労など、高齢者が生きがいを持って積極的に社会に参加できるよう自己実現の機会の創出を多方面から推進していきます。

また、新型コロナウイルス等の感染症の影響により閉じこもりとならないよう新しい生活様式を取り入れた生きがい・社会参加への取組を推進します。

(1) 自主的な活動の促進

【取組について】

地域では、高齢者の様々な自主的な活動が行われており、日常生活の楽しみや生きがいとなっています。アンケート調査では、老人クラブ活動、ボランティア活動や地域における趣味活動などが、日常生活の楽しみとの回答があります。

また、老人クラブは、地域貢献を念頭に「仲間づくり」等を行う老人福祉の増進に寄与する団体として、地域で生きがい活動や見守り活動等を行っており、高齢者の身近な地域での社会参加の機会の創出に重要な役割を担っているため、老人クラブ活動の活性化の支援に取り組みます。

老人クラブの状況

(単位:団体、人)

年度(4月1日時点)	
老人クラブ	団体数 会員数

芦屋市の老人クラブに向けて 障害予防の講演会

【施策の方向】

老人クラブ、あしやYO倶楽部への活動支援

- 活動支援を継続するとともに、活動に役立つ情報を提供していきます。
- 継続的な活動を行うために次世代を担う若い世代のリーダー育成及び会員確保の取組を支援します。
- 新規会員の確保や地域に親しんでもらえるように活動内容及び「はびねずクラブ芦屋」の愛称を広報紙やケーブルテレビにて周知します。【充実】

●目標値【老人クラブ会員数(人)】

R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)
2,940	2,970	3,000

介護予防・日常生活支援総合事業のサービス利用量の検証

(単位:日)

		第7期計画値		実績		計画値と実績の比較	
		H30年度 (2018年度)	R1年度 (2019年度)	H30年度 (2018年度)	R1年度 (2019年度)	H30年度 (2018年度)	R1年度 (2019年度)
予防専門型訪問サービス	日数	51,334	53,028	51,279	52,832	99.9%	99.6%
生活支援型訪問サービス	日数	2,235	2,309	5,096	5,947	228.0%	257.6%
予防専門型通所サービス	日数	26,375	27,246	32,263	36,716	122.3%	134.8%
基準緩和型通所サービス	日数	—	—	—	45	—	—

介護予防・日常生活支援総合事業のサービス目標量

(単位:日)

		実績		推計値			
		H30年度 (2018年度)	R1年度 (2019年度)	計画期間			
				R2年度 (2020年度)	R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)
予防専門型訪問サービス	日数	51,279	52,832	50,480	55,272	55,598	55,867
生活支援型訪問サービス	日数	5,096	5,947	6,296	6,417	6,454	6,486
予防専門型通所サービス	日数						
基準緩和型通所サービス	日数						

シルバー人材センターからの 講師依頼

【施策の方向】

総合事業の推進

- 生活支援型訪問サービス従事者研修を継続し、サービス供給量の確保と担い手の育成を進めます。
- 総合事業のサービス内容及びその実施方法、基準、単価、利用者負担について、地域の実情に応じた実施となるよう、必要に応じて、見直しを検討します。

適正な対象者選定の実施

- 相談時に専門職がアセスメントを通じて丁寧な助言を行うことで、介護認定申請やチェックリストの実施など利用者を適正なサービスにつなげます。

介護予防ケアマネジメントの充実

- 利用者の自立支援に資するケアプラン作成のため、ケアマネジメント研修やケアプランチェックを実施し、指導・助言を行います。また目標指向型ケアプランを推進し、利用者の生活の質の向上を図ります。

保健事業と介護予防の一体的実施

地域における介護予防の推進

- 介護予防センターにおいて、住民主体の活動講座を実施します。【新規】

目標値：リーダー養成講座の受講人数（人）

R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)
15	15	

- 効果的・効率的な介護予防事業の推進のため、地域連携や、KDBシステム※を活用した介護予防事業の見直しを含めた、より効果的な自立支援・重度介護予防事業の推進を図ります。
- ※KDBシステム（国保データベースシステム）及び「介護の各種データ」を活用し、「統計情報」を作成するシステム。

多職種・他分野との協働による介護予防の推進

- 高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業を推進し、医療専門職が通いの場等に関与することで、参加者の介護予防・健康づくりへの興味関心を高め、活動内容の充実を図ります。【新規】

目標値【通いの場等での保健事業と介護予防の一体的実施の回数（回）】

R3年度 (2021年度)	R4年度 (2022年度)	R5年度 (2023年度)
24	36	48

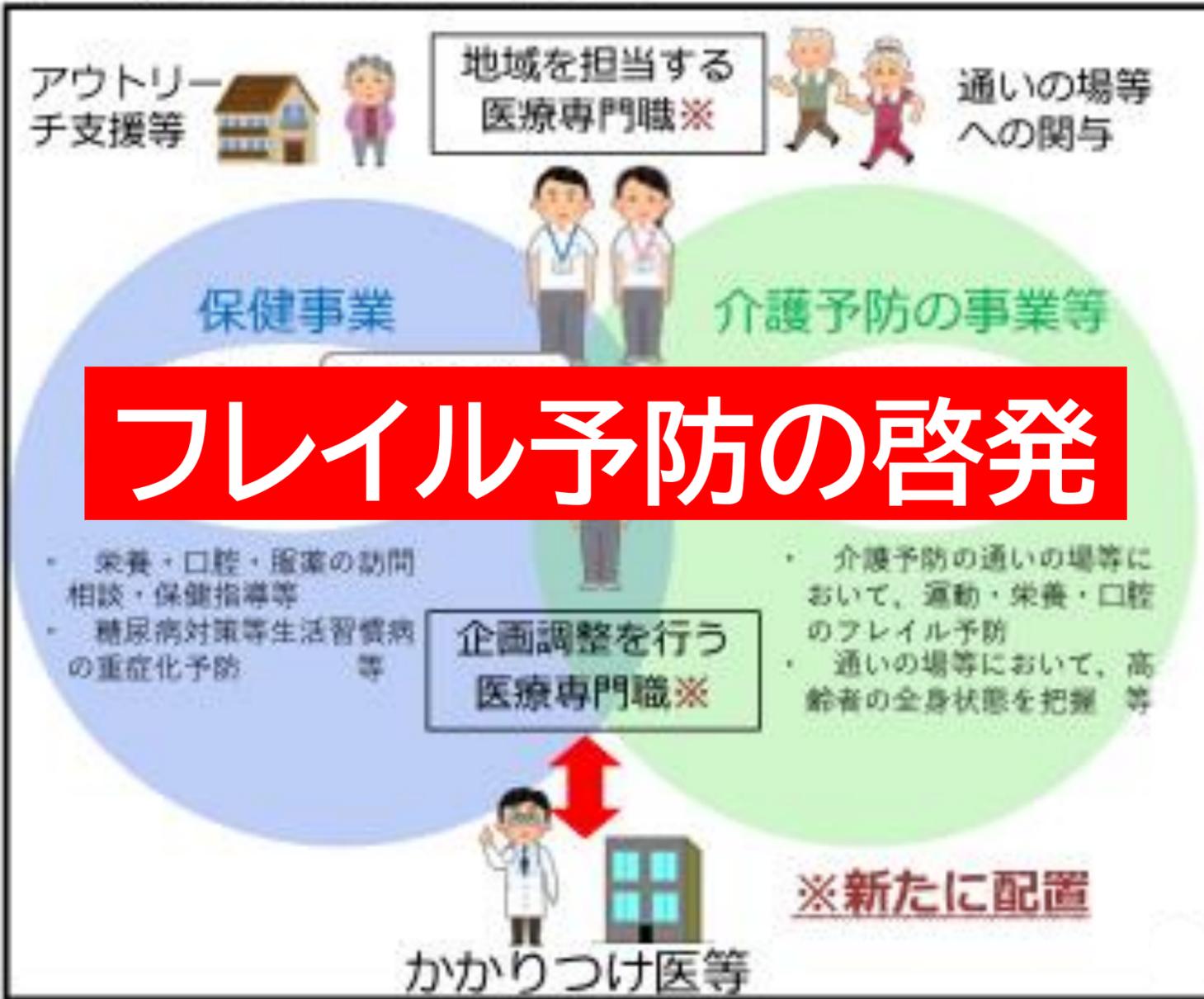
- 多職種・他機関との連携の推進として芦屋PTOTST連絡会と連携した、地域リハビリテーション活動支援事業を実施し、介護予防の取組内容の強化・充実を図ります。【新規】

高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施事業を推進し、**医療専門職が通いの場等に関与する**ことで、参加者の介護予防・健康づくりへの興味関心を高め、活動内容の充実を図ります。

地域リハビリテーション活動支援事業

芦屋PTOTST連絡会と連携した、地域リハビリテーション活動支援事業を実施し、介護予防の取組内容の強化・充実を図ります。

▼一体的実施イメージ図



▼地域リハ活動支援事業イメージ図





保険事業と介護予防の一体的実施 (フレイル予防事業)

- ・対象：通いの場の参加者または5～20人までのグループ
公共施設や商業施設の利用者や通行人（無関心層）
- ・目的：フレイル予防の啓発
- ・専門職：保健師、管理栄養士、歯科衛生士、理学療法士
- ・内容：講話、体力測定、個別相談

地域リハビリテーション活動支援事業 (集団支援)

- ・対象：自主グループ結成2年以内
- ・目的：自主グループ活動の強化（マンネリ解消、持続）
- ・専門職：理学療法士、作業療法士、言語聴覚士
- ・内容：グループの要望により決定
(介護予防、転倒予防、体力測定、認知症予防、など)

通いの場における取組

地域支援事業まとめ



芦屋多職種医療介護ONEチーム連絡会

The screenshot shows the Ashiya City website header with navigation tabs for Home, Living, Disaster Safety, Health/Welfare/Childcare, Education/Culture/Sports, Industry/Township Development, and Municipal. The main content area is titled '在宅医療・介護連携推進事業について' (About In-home Medical and Care Collaboration Promotion Business) and includes sections for '在宅医療・介護連携推進に関する取組' (Measures for In-home Medical and Care Collaboration Promotion), '退院調整ルール' (Discharge Adjustment Rules), '医療と介護の連携グランドルールの運用' (Operation of Medical and Care Collaboration Grand Rules), and '芦屋多職種医療介護ONEチーム連絡会' (Ashiya Multi-professional Medical and Care ONE Team Liaison Council). A sidebar on the left lists various topics related to nursing insurance.

- 芦屋市医師会
- 芦屋市歯科医師会
- 芦屋市薬剤師会
- 市立芦屋病院
- 芦屋市訪問看護連絡会
- 芦屋栄養士会
- 芦屋介護サービス事業者連絡会
- 芦屋市ケアマネジャー友の会
- 芦屋PTOTST連絡会
- 高齢者生活支援センター
- 芦屋市在宅医療・介護連携支援センター
- 芦屋市福祉部地域福祉課

マンパワーの問題

- 活動が活発化し、地域に認知されることで、地域からの需要も増えてきており、もっと協力者が必要
- 所属事業所の理解が必要
 - 病院・施設・事業所が業務時間中にリハ職を外に出すことがデメリット？
 - 地域事業への参画はボランティアではない
(1回10000~15000円程度の報酬)
- 事業所としても所属しているリハ職が地域事業に参画して地域貢献をしているということにメリットを感じてもらえるようにしたい

理想の形



依頼



依頼・報酬

ニーズ調査
効果判定

芦屋市リハビリ専門職
ネットワーク



芦屋PTOTST連絡会

派遣・実績
データ収集

病院や事業所が
セラピストの加入を促進
地域事業への積極的な関り



実績報告
地域に向けても発信

知っていますか??

芦屋PTOTST連絡会

芦屋市内で働くリハ職が病院や施設、事業所、職種の垣根を越えて強固な連携体制を構築するために、2019年に発足しました。
会員相互の情報交換だけでなく、芦屋市の地域リハ事業に関する依頼に対応し地域貢献活動を行っています。

新規参加者大歓迎！！



地域×リハ

地域ケア会議への参加
保険事業と介護予防の一体的実施
地域リハビリテーション活動支援事業
他職種団体に向けた研修会講師



リハ×リハ

芦屋市共通のリハビリ情報提供書作成
病院・施設紹介文の普及
芦屋市リハ職研修交流会を企画、開催

連絡会概要

開催場所：芦屋市社会福祉協議会
日時：2ヶ月に1回、第3火曜日
会員数：現在約30名
(事務局15名、メール会員15名)
参加条件：芦屋市内の病院、施設、事業所に所属するPT.OT.ST

一緒に芦屋市の連絡会で活動しませんか!?

メーリングリストの登録だけでも、市の地域リハ事業への参画も可能です！

【お問い合わせ】

<https://ashiya-shakyo.com/pages/88>



ASHIYA
COMMUNITY-BASED
REHABILITATION

会員募集中
会費無料

芦屋市リハビリ専門職ネットワーク

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士

芦屋PTOTST連絡会

私たちが芦屋市の地域リハビリテーションの推進をしています

地域支援事業

- 市** 地域リハビリテーション活動支援事業
フレイル予防事業
- 地域包括** 自立支援型地域ケア会議
- 講師依頼** シルバー人材センター
芦屋市老人クラブ連合会
兵庫県薬剤師会
芦屋市介護事業者連絡会
芦屋市社会福祉協議会

専門職の連携

- 2か月に1回の会議
市内リハ職等の連携協議
リハ職交流会の開催
地域支援事業におけるリハ職派遣
多職種団体または他団体の会議等への参加

協力・連携・支援

- 兵庫県地域リハビリテーション支援センター
兵庫県リハ3士会合同地域支援推進協議会
芦屋市多職種医療介護ONEチーム連絡会
芦屋市社会福祉協議会



病院・診療所

芦屋セントマリア病院
市立芦屋病院
芦屋グランドクリニック
芦屋整形外科スポーツクリニック

入所・通所施設

愛しや
リハビリモンスター芦屋
さくらの園
あしや喜楽苑

訪問看護ステーション

芦屋市訪問看護ステーション
メディケアシステム訪問看護・
リハビリセンター芦屋
まごころ訪問看護ステーション
ロジケア訪問看護ステーション
ルート訪問看護ステーション

大学

兵庫医科大学
甲南女子大学

※定例会議の参加施設



詳しくはこちら

入会希望・講師依頼・合同企画依頼、等
ホームページよりお問い合わせください

